

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成16年7月15日(2004.7.15)

【公開番号】特開2002-311933(P2002-311933A)

【公開日】平成14年10月25日(2002.10.25)

【出願番号】特願2002-39442(P2002-39442)

【国際特許分類第7版】

G 09 G 5/00

G 06 F 3/153

【F I】

G 09 G 5/00 5 1 0 X

G 09 G 5/00 5 1 0 V

G 06 F 3/153 3 3 3 A

G 09 G 5/00 5 5 5 D

【手続補正書】

【提出日】平成15年6月24日(2003.6.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】映像装置

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1、第2の外部装置と接続可能な映像装置において、当該映像装置を識別するためのID情報を記憶するメモリと制御回路とを備え、該制御回路は、外部装置が第1から第2の外部装置に切り換わった場合に、前記メモリ内の前記ID情報を外部へ送信するように制御することを特徴とする映像装置。

【請求項2】

第1及び第2の外部装置のいずれかと接続可能な映像装置において、当該映像装置を識別するためのID情報を記憶するメモリと制御回路とを備え、接続される外部装置が第1から第2の外部装置に切り換わることを示す信号が入力されると、前記制御回路は該信号に応答して、前記メモリ内のID情報を外部装置に出力するための制御動作を開始することを特徴とする映像装置。

【請求項3】

第1及び第2の外部装置のいずれかとケーブルを介して接続可能な映像装置において、当該映像装置を識別するためのID情報を記憶するメモリと、前記ケーブルが接続される端子と、該端子と接続され、前記映像装置と前記ケーブルとの接続をON/OFFするスイッチと、制御回路とを備え、接続される外部装置が第1から第2の外部装置に切り換わることを示す切換信号が入力されると、前記制御回路は該切換信号に応答して、前記スイッチをONからOFFにし、その後に前記メモリ内のID情報を外部装置に出力するように制御を行うことを特徴とする映像装置。

【請求項4】

外部装置と接続可能であり、該外部装置との通信が可能な映像装置において、当該映像装置を識別するためのID情報を記憶するメモリと制御回路とを備え、該制御回路は、前記映像装置と前記外部装置との接続状態が変化した場合に、外部装置との通信を初期化する処理を実行して前記メモリ内のID情報を外部装置に出力するように制御を行うことを特徴とする映像装置。

【請求項5】

前記通信の初期化処理は、外部装置を電源投入直後の状態にするための処理を含むことを特徴とする請求項4に記載の映像装置。